



・第8回桜区原爆絵画展 開催

(2022年8月25-27日 プラザウエスト)

第8回桜区原爆絵画展を8月25日から27日まで桜区役所に併設するプラザウエストのギャラリーにて開催しました。ウクライナや防衛費増強など戦争への危機感があるなかでの開催となりました。

展示内容は、ヒロシマ市民が描いた絵画50点、写真集（原爆と人間）20点、丸木美術館パネル2組（第九部「焼津」、第十部「署名」）、写真集（こどもたちの見た戦争 はだしのゲンとともに）8点、パネル（原子爆弾被災状況 広島市街説明図）1点を設置しました。



(プラザウエスト ギャラリー)

今年の入場者数は242名と昨年の159名を大きく上回りました。コロナも落ち着いてきたのでしょうか。また、今回からアンケートについて使い捨て鉛筆を採用したところ、昨年の2倍以上の151枚を集めることができました。

会場内では、絵画に描いてある文章を子どもに読んで聞かせているお母さん。当時の体験を聞かせていただいた広島出身の方々。絵が怖いと頭から上着を被ってしまった女の子。今回の絵画は悲惨な描写が多かったようですね。これからの絵画展の参考にさせていただきます。

絵画展の設営、受付、撤去などに参加いただいた皆さま、お疲れさまでした。ありがとうございました。

次ページにアンケートの感想等を掲載しました。

(アンケートの感想から抜粋)

(10代以下)

- ・平和を願いながら 見学させて頂きました。
- ・どの展示作品もとても悲しいと思いました。皆が知るべきだと思います。



(40代)

- ・自分は小学校4年生の時に広島へ行き原爆資料館へ。戦争の残酷さと原爆が与えた影響に子供ながら衝撃を受けました。
- ・初めて見ましたが、想像以上のむごさでした…。言葉が見つかりません。
- ・子どもたちにも悲惨さを伝えることができとてもありがたいです。ショッキングで胸が痛みます。

(50代)

- ・核戦争などという人間のおろかな行為は絶対に許されないと 생각합니다。子供と戦争のむごさを語るよき機会となりました。
- ・二度と戦争がおこらないように、他国とのもめ事をおこさないようにする。国のトップは、国民の安全を第一に考える。

(60代)

- ・事実を自分事として想う想像力をいつまでも強く持ち続けたい。母親が自分の子を失うことを他人事のように思ってはいけない。
- ・継続は必ず戦争をしないという身近に世界へつながるはずです。ウクライナの件も広島から発信すれば必ず願いはかなうはず。

(70代以上)

- ・学校教育の中で今この内容を伝えていかないと日本は命を大切にしない国になるでしょう。
- ・食糧には大変苦労しましたが、この写真展を見る限り私の苦労は何でもありません。今の平和な時代に生きていられる事を幸福に思います。
- ・世界から戦争、核兵器がなくなる時代が来ることを心より祈りたい。

政教分離の大切さ (憲法を学ぶーその4)

政教分離とは、国家と宗教の分離の原則とも言われています。それは、①国家が宗教を干渉・弾圧したり、逆に擁護したりすることを禁止する。②宗教団体も国から特権を受け、又は政治上の権力行使を禁止する。③国民一人一人の信教の自由を保障するというものであり、憲法の第20条や第89条に規定されています。

●戦争の反省から

戦前・戦中の日本は天皇主権（国民は臣民・家来）のもと神道を国教として特権的地位を与え、政教一致で軍国主義・戦争へと進んだことの反省から規定されています。

ところが毎年、閣僚や国会議員の靖国神社参拝が大きな問題となっています。戦後の靖国神社は神道の民間の宗教法人で、軍人だけを祀っています。そして「先の大戦は聖戦で悪いのは米国や中国」だとしてA級戦犯を1978年に合祀しています。



ここに閣僚や国会議員が参拝することは戦争を肯定し、神道という特定宗教を擁護する明確な憲法違反です。

●旧統一教会問題

安倍政権が名称変更を認め、現在は世界平和統一家庭連合といいますが、靈感商法や多額献金などで家庭崩壊や破産、自殺などの深刻な反社会的問題を引き起こしています。これをもみ消すために自民党や内閣に強い影響力を持ち、安倍首相（当時）まで広告塔として利用して政治的圧力を行使してきました。

統一教会は「反社会的なカルト集団だから宗教ではない」とする声が圧倒的で「宗教法人格のはく奪＝解散命令を裁判所に申請する」ことを自公政権は直ちに実行すべきです。

●旧統一教会問題

●改憲叫ぶ統一教会

自民党や維新と統一教会の改憲案は同じであることも明らかになりました。これを見ても改憲の危険性は明確です。

✂ 切り抜き帳 ✂

処理水設備 着工

東京電力は8月3日、福島第一原発でたまり続ける処理水を海洋放出する設備の本体工事を4日に開始すると発表した。処理水を沖合約1キロに放出する海底トンネルの掘削などを進める。来年春ごろの放出開始を目指す、気象や海の状況次第で夏ごろに遅れる可能性があるとした。風評被害を懸念する漁業関係者らは放出に反対している。

東電は設備の完成や試験完了が来年6月ごろとする工程表を公開。放出開始がさらに遅れる可能性が

あるとして「海上での重要な工事が台風などで進まないリスクがある」と説明した。

4日は海底トンネルの掘削や、処理水を放出設備まで移送する配管の敷設などに着手する。既に「環境整備」として一部工事を先行着手しており、立て坑の掘削などは完了している。

政府と東電は2015年、「関係者の理解なしにはいかなる（処理水の）処分もしない」との約束を地元漁業者と交わしている。

（2022年8月4日、産経新聞から抜粋）

【会の活動報告】

- 8月 7日（日） 運営スタッフ会議 大久保東公民館
- 8月25～27日 桜区原爆絵画展 プラザウエスト
- 9月10日（土） 運営スタッフ会議 栄和公民館
- 10月16日（日） 運営スタッフ会議 大久保東公民館

【これからの予定】

- 11月20日（日） 上映会・総会・運営スタッフ会議 土合公民館

会員募集中！
カンパ大歓迎



桜区平和を考える会 ホームページ

- ・パソコンでは『桜区平和』で検索
- ・スマホでは右のQRコードから

<http://spa.g1.xrea.com/>

<http://spa.g1.xrea.com/smh/>



振込口座：ゆうちょ銀行
口座番号：00270-8-104990
加入者名：桜区平和を考える会
年会費：1,000円（カンパ大歓迎）
振込手数料はご負担ください

発行：桜区平和を考える会

（連絡先）

090-8588-4966（今井）

090-4433-7092（小高）